令和6年度計画変更

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

（農業用用排水施設整備）

都道府県名	福　　岡
地　区　名	新星野2期地区
所　在　地	八女市星野村
事 業 主 体	福　岡　県

目　　次

第1章　目　的 …… 1
第2章　地域及び地積 …… 1
　第1節　地　域 …… 1
　第2節　地　積 …… 1
第3章　現　況 …… 2
　第1節　気象及び海象 …… 2
　　1.　一般気象 …… 2
　　2.　特殊気象 …… 3
　　3.　海　象 …… 3
　第2節　土地状況 …… 4
　　1.　地形、土壌及び浸食の程度 …… 4
　　2.　土地分類 …… 5
　　3.　土地利用の状況 …… 6
　　4.　土地所有の状況 …… 7
　第3節　水利状況 …… 8
　　1.　用水状況 …… 8
　　2.　排水状況 …… 10
　　3.　河川状況 …… 12
　第4節　道路概況 …… 12
　　1.　道路概況 …… 12
　　2.　主要道路一覧表 …… 12
　第5節　地域農業の概況 …… 13
　　1.　産業別就業人口 …… 13
　　2.　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
　　並びに専兼別農家数 …… 14
　　3.　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 15
　　4.　主要作物作付状況 …… 16
　　5.　農業の動向 …… 17
　第6節　地域環境の概況 …… 18
第4章　一般計画 …… 19
　第1節　事業計画の要旨 …… 19
　　1.　要　旨 …… 19
　　2.　事業別面積 …… 19
　第2節　営農計画及び土地利用計画 …… 20
　　1.　営農計画の概要 …… 20
　　2.　土地利用区分 …… 20
　　3.　作付方式 …… 21
　　4.　生産計画 …… 22
　　5.　労働改善計画 …… 23
　　6.　級地別土地利用区分 …… 23
　　7.　土地配分計画 …… 23
　第3節　用水計画 …… 23
　　1.　計画基準年 …… ―
　　2.　計画かんがい方式 …… ―
　　3.　計画用水系統 …… ―
　　4.　計画用水量 …… ―
　　5.　水源計画 …… ―
　第4節　排水計画 …… 23
　　1.　計画基準雨量 …… 23
　　2.　計画排水方式 …… 23
　　3.　計画排水系統 …… 23
　　4.　計画排水量 …… 24
　　5.　排水対策 …… 25
　　6.　湛水検討 …… 26
　第5節　道路計画 …… 26
　　1.　道路及び索道 …… ―
　　2.　路線配置図 …… ―

目　　次

第6節　農用地造成計画 …… 26
1.　農用地造成計画 …… ―
2.　土壌改良 …… ―
第7節　洪水調節計画 …… 26
1.　計画基準雨量 …… ―
2.　計画洪水量及び調節量 …… ―
3.　貯 水 池 …… ―
4.　洪水調節検討 …… ―
5.　管理計画 …… ―
第8節　干拓計画 …… 26
第9節　農用地整備計画 …… 26
1.　区画整理 …… ―
2.　暗渠排水 …… ―
3.　客　土 …… ―
4.　農地保全 …… ―
第10節　老朽ため池改修計画 …… 26
1.　洪水吐改修計画 …… ―
2.　堤体補強計画 …… ―
3.　取水施設改修計画 …… ―
第5章　主要工事計画 …… 27
第1節　用水施設 …… 27
1.　貯 水 池 …… ―
2.　頭 首 工 …… ―
3.　揚 水 機 …… ―
4.　用 水 路 …… ―
5.　その他かんがい施設 …… ―
第2節　排水施設 …… 27
1.　排水水門 …… ―
2.　排 水 機 …… ―
3.　排 水 路 …… 28
4.　その他排水施設 …… ―
第3節　道路及び索道 …… 29
1.　道　路 …… ―
2.　索　道 …… ―
第4節　農用地造成 …… 29
1.　農用地造成 …… ―
2.　土壌改良 …… ―
第5節　洪水調節施設 …… 29
1.　貯 水 池 …… ―
2.　頭首工及び導水施設 …… ―
第6節　干拓施設 …… 29
1.　堤　防 …… ―
2.　潮 止 め …… ―
3.　付属施設 …… ―
4.　埋　立 …… ―
第7節　農用地整備施設 …… 29
1.　区画整理 …… ―
2.　暗渠排水 …… ―
3.　客　土 …… ―
4.　除　礫 …… ―
5.　農地保全 …… ―
第8節　老朽ため池改修施設 …… 29
1.　貯 水 池 …… ―
2.　堤体補強施設 …… ―
第6章　附帯工事計画 …… 30
第7章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 30
第8章　環境と調和への配慮 …… 31
第1節　配慮の対象 …… 31
1.　植　物 …… 31
2.　動　物 …… 31
3.　その他（景観・文化財等） …… 31

目　　次

第2節　配慮の考え方 …… 31
1.　施工上の配慮 …… 31
2.　施工計画上の配慮 …… 31
第9章　換地計画の概要 …… 32
第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… ー
第2節　換地区の設定 …… ー
1.　換地区の名称、所在、面積 …… ー
2.　換地区を設定する理由 …… ー
第3節　換地計画樹立の基本方針 …… ー
1.　従前の土地の面積の基準 …… ー
2.　用途別予定地積 …… ー
3.　農用地集団化の方針 …… ー
4.　非農用地の換地方法 …… ー
第4節　土地の評価及び精算の方法 …… ー
1.　評価の方法 …… ー
2.　精算の方法 …… ー
第5節　換地計画樹立の年度計画 …… ー
第6節　換地処分の時期に関する特則 …… ー
第10章　事業費の総額及び内訳 …… 33
第11章　効　用 …… 34
第12章　関連する事業 …… 35
第13章　現況・計画図面 …… 35
1.　現形図 …… 別途
2.　計画平面図及び主要構造図 …… 別途

第1章　　目　　的

本地区の現況水路は、素掘りの未整備水路が多く、そのほとんどが土水路で、法面崩壊による土砂の堆積や葦等の繁茂により著しく通水を阻害しており、営農に多大な支障をきたしている。そのため、断面不足を解消し、安定的な用水排水の水管理が図れるよう、早急な水路整備が望まれている。

本地区の農業生産と農村環境の改善に資するため、農業用用排水路を整備することにより、農業用水の確保及び排水不良の改善を図り、併せて集落および地域の水環境の改善を目指す。

また、自然環境の維持保全に努めるよう、生態系の維持に配慮した整備を行う。

第2章　　地域及び地積

第１節　地　　域

（第1表）

事　業　名	地　　域
（農業用用排水施設整備）	福岡県八女市星野村

第２節　地積

（令和6年 8月現在）　　（第2表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	八女市 星野村	22.0	1.1	－	－	－	23.1	
合　計		22.0	1.1	－	－	－	23.1	

第3章 現　　況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

（第3表－1）

観測所名	羽犬塚観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	大正4年～昭和45年	6月～10月	11月～5月		
平　均　気　温　(℃)		19.3	10.8	15.9	
降 水 量	平　　均 (mm)	1,041.0	899.0	1,940.0	
	基　準　年 (mm)	813.6	910.4	1,724.0	基準年･･･昭和35年(1960年)
降水日数	平　　均 (日)	53	93	146	
	基　準　年 (日)	67	105	172	基準年･･･昭和39年(1964年)
根　雪　期　間		該当なし			
無　霜　期　間		該当なし			
最　多　風　向		南西	最 大 風 速 (風向)	25.7 m/s (南西)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日　　昭和45年8月

2.特殊気象

（第3表－2）

観測所名 羽犬塚観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 大正4年～昭和45年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	349.0	S28.6.25	1/100	270.0	S10.6.28	1/40	252.0	S21.6.20	1/30	240.0	S30.4.15	1/20	233.0	S24.8.16	1/10	
最大時間雨量 (mm)	84.3	S28.6.26	－	59.0	S31.8.27	－	50.0	S42.7.9	－	42.0	S41.6.30	－	40.0	S36.7.5	－	
最大4時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量 (mm)	815.0	S10.6.26 ～7.5	1/100	635.0	S37.6.30 ～7.8	1/50	584.0	S3.6.23 ～6.29	1/18	575.0	S28.6.24 ～6.29	1/16	527.0	S10.6.30 ～7.10	1/10	
最大連続干天日数 (日)	59	S42.8.15 ～10.12	1/100	42	S44.8.2 ～9.12	1/30	41	T14.7.20 ～8.29	1/17	40	S27.7.10 ～8.18	1/17	40	S8.8.27 ～10.5	1/17	

3.海　　象

該当なし

第2節　土地状況

1. 地形, 土壌及び浸食の程度

（第４表－１－1）

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5 以上	計	3°未満	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設）	面積(ha)	－	－	－	－	22.0	22.0	1.1	－	－	－	－	1.1			
	比率(%)	－	－	－	－	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	100.0			
合計	面積(ha)	－	－	－	－	22.0	22.0	1.1	－	－	－	－	1.1			
	比率(%)	－	－	－	－	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	100.0			

（第４表－１－2）

項目 / 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表											面積（ha）		備考
	土壌断面									堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性				泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農業用排水施設	計	
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
多々良統	Ｙ(灰) ＹＲ(灰褐)	なし	なし	あり	粘質	粘質	－		－	水積 (河成堆積)	－			
宝田統	Ｙ(灰) Ｙ(灰)	なし	なし	あり	粘質	粘質	－		－	水積 (河成堆積)	－			
計												23.1	23.1	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

（平成27年3月現在）　　（第4表－3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭体 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	八女市 星野村	22.0	1.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23.1	第2章 地域及び地積
	計	22.0	1.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23.1	
合計		22.0	1.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23.1	

4土地所有の状況

（第4表－4）

事業名	所有別 区分	個人有				計	備　　考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	面　積（ha）	23.1				23.1	
	受益者数(人)	131				131	
	筆　数（筆）	350				350	
	権 利 関 係						
	備　　考 （関係戸数）						
合計	面　積（ha）	23.1				23.1	
	受益者数(人)	131				131	
	筆　数（筆）	350				350	
	権 利 関 係						
	備　　考 （関係戸数）						

第３節　水利状況

1. 用水状況

本地区の用水路は、星野川から取水し土水路・現場打ち水路等を通じて下流の農地に送られている。しかしながら、用水路の老朽化によって各箇所で漏水しており、末端まで適正な用水量が伝わらず用水不足をきたしている。

(1) 用水系統

該当なし

(2)用水施設

（ア）　取水方法一覧表

（第5表－1）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500 ha以上		かんがい面積 500～100 ha		かんがい面積 100 ha未満		計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s		
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	貯水地															
	井堰															
	自然取入口															
	揚水機															
	用水路					13	23.1	13	23.1							
	その他						－									
	計					13	23.1	13	23.1							
合計						13	23.1	13	23.1							

（イ）　改修を要する施設一覧表

（第5表－2）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構　造	規　模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備　　考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	貯　水　地							
	井　　堰							
	自然取入口							
	揚　水　機							
	用水路	13	23.1	土水路、石積水路	総延長 3,587m	不明	老朽化及び漏水による流下能力の低下	
	そ　の　他							
合　　計			23.1					

(3)用水に関する被害状況

（ア）　用水不足による被害状況

該当なし

（イ）　その他の被害状況

該当なし

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

2.排水状況

本地区は星野川に排水している。

(1)排水系統

該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方式一覧表

(第5表－4)

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500 ha以上 箇所	500 ha以上 ha	500～100 ha 箇所	500～100 ha	100 ha未満 箇所	100 ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	自然	排水路					13	23.10	13	23.10			
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						13	23.10	13	23.10			
合計							13	23.10	13	23.10			

(イ)改修を要する施設一覧表

(第5表－5)

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	自然	排水路	13	23.10	土水路	総延長 3,587m	不明	老朽化及び漏水による流下能力の低下	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		13	23.10					
合計			13	23.10					

３.河川状況

星野川は、福岡県八女市星野東部の熊渡山に源を発する。星野地区内を東から西に流れ、福岡県八女市祈祷院と八女市柳島の境界で矢部川に合流する。

(1)河川状況

該当なし

(2)洪水に関する被害状況

該当なし

第４節　道路概況

１.道路概況

本市の西端には九州自動車道・八女インターがあり、中心部を南北に国道3号、東西に国道442号が走っている。国道442号は筑後市(JR羽犬塚駅)、柳川、大川方面と奥谷目地域が走っている。さらに、主要地方道玉名・八女線、佐賀・八女線などの県道10路線があり、八女市と周辺市町村との主要な連絡道となっている。

２.主要道路一覧表

該当なし

第5節　地域農業の概況

1. 産業別就業人口

（第7表－1）

項目 市町村名	総　数 （人）	農　業 （人）	林　業 （人）	漁　業 （人）	鉱　業 （人）	建設業 （人）	製造業 （人）	電気ガス熱供給水道業 （人）	運　輸通信業 （人）	卸　売小売業飲食店 （人）	金　融保険業 （人）	不　動産　業 （人）	サービス　業 （人）	公　務 （人）	その他 （人）	備考
八女市	30,782	5,239	176	5	3	2,681	3,982	60	1,508	4,004	331	232	10,555	930	1,076	2020年 国勢調査
計	30,782	5,239	176	5	3	2,681	3,982	60	1,508	4,004	331	232	10,555	930	1,076	
比率(%)	100.0	17.0	0.6	0.0	0.0	8.7	12.9	0.2	4.9	13.0	1.1	0.8	34.3	3.0	3.5	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（第7表－1）

区分 / 市町村名	総農家数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸）											1戸当たりの平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
八女市 星野村	313 (204)	－ (13)	－ (42)	－ (59)	－ (23)	－ (20)	－ (22)	－ (15)	－ (10)	－ －	－ －	121	(0.4)	(0.6)	(1.2)	(2.2)	―	(2.2)						2020年センサス
八女市	3,614 (2,435)	－ (169)	－ (444)	－ (750)	－ (390)	－ (186)	－ (205)	－ (197)	－ (79)	－ (9)	－ (6)	1,274	(0.7)	(0.5)	(1.3)	(2.5)	(0.4)	(2.9)						
計																								
比率(%)																								

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

（第7表－3）

区分 / 市町村名	動力農機具								主要家畜				備考
	耕うん機 30ps未満		トラクター 30ps以上		コンバイン		田植機		乳用牛		肉用牛		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
八女市星野村									0	0	0	0	2020年 農林業センサス
八女市									329	8	×	10	※動力農機具数量記載なし ※「x」は秘密保持上統計数値を公表しないもの。
計													
100戸当たり数量（台・頭）													
利用戸数割合（%）													

4. 主要作物作付状況

（第7表－4）

市町村名			八女市						計	平均	作付率 (%)	備　考
総耕地面積(ha)			6,340						6,340			
総本地面積(ha)			6,120						6,120			
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)		
田	表作	水　稲	1,120	460					1,120	460		第70次 九州農林水産統計年報
		豆　類（大豆）	76	159					76	159		
									0	0		
	裏作	小麦	268	496					268	496		
		二条大麦	54	422					54	422		
									0	0		
									0	0		
	小　計		1,518						1,518			
普通畑	通年								0	0		
									0	0		
									0	0		
	春夏作								0	0		
									0	0		
	秋冬作								0	0		
									0	0		
	小　計		0						0			
樹園地									0	0		
									0	0		
									0	0		
	小　計		0						0			
計			1,518						1,518			
市町村別延べ作付率(%)			25						25			

5.農業の動向

（第7表－5）

項目／区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	86	65	耕地	89	69	水稲	92	80	乳用牛	63	50	田植機	76	―	農業振興地域有 野菜指定産地有	A：令和2年（2020年 農林業ｾﾝｻｽ） B：平成27年（2015年 農林業ｾﾝｻｽ） C：平成22年（2010年 農林業ｾﾝｻｽ） ※「ー」は2020年センサスに記載なし
	専業農家数	95	―	田	88	64	麦類	87	76	肉用牛	100	91	トラクター	81	―		
	第一種兼業農家数	76	―	畑	182	143	豆類	142	122	採卵鶏	83	50	コンバイン	79	―		
	第二種兼業農家数	75	―	樹園地	78	64											
	農業従事者数	108	―														
変化の理由	他産業への転業及び後継者不足による減少。			農家数の減少及び、農地の転用等により耕地減少。			水稲の減少と豆類(大豆)の増加は、水田畑利用の定着による。			畜産状勢の悪化による離農者の増加。			農家数の減少に伴う所有台数減				専兼業別農家数は販売農家（2020年センサスには掲載なし）、その他は農業経営体を対象とした。

※星野村では比較ができない項目が多いため、八女市の値を使用

第6節　地域環境の概況

1. 動物等生態系の概要　（星野村田園環境整備マスタープラン）

植物：オキナグサ、オグラコウホネ、シコクハタザオ、ヒロハコンロンカ、フトヒルムシロ、ヤマトミクリ、リンドウ、バイケイソウ、マメヅタラン、エビネ、タシロラン、湿性植物群落、ヤマザクラ群落
鳥類：ヤマドリ
両生類：トノサマガエル、カスミサンショウウオ、ニホンヒキガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル
淡水魚類：アカザ、ニッポンバラタナゴ、カゼトゲタナゴ、ドジョウ、カジカ
昆虫類：キバネセセリ、スギタニルリシジミ、キマダラモドキ、キンスジコガネ、ミヤマセセリ、ヒメキマダラセセリ、ミヤマチャバネセセリ、エゾスジグロシロチョウ、コツバメ、オオムラサキ

2. その他の地域環境への概要

①自然環境

星野村の自然環境について、人の営みに関係のない純粋な自然はほとんど見られず、農山村の中で人々が農地や山林を利用し、自然の中に積極的に作り出した‘山里の自然’が主なものとなっています。

‘山里の自然’は、星野村に営々と築かれてきたかけがえのない自然であり、次の世代に継承し残しておくべきものであるといえます。

しかしながら、過疎化・少子高齢化の影響による農林業従事者の不足や経済的な理由などから間伐期を迎えても手入れされない山林、耕作放棄による原野化している農地なども増加しており、抜本的な対策が求められている状況にあります。

また、ごみの不法投棄や生活排水等による水質の悪化なども懸念されており、社会的モラルの醸成と共に、集落排水施設整備事業や合併浄化槽設置事業などによる環境の保全が求められます。

②社会環境

長期化する不況の中で、農林産物の価格低迷は、依然として厳しい状況にあり、農林業の後継者不足や高齢化と合わせ、深刻な現況にあります。

農林業以外の産業についても、主力産業が第３次産業に移行している中、村内に安定した就労の場は少なく、サービス業などの活性化も滞っている状況にあるといえます。

今後は、これまで以上に農村への定住の促進と、農村と都市との交流連携を図る必要があります。

③生産環境

道路整備や上水道等の生活用水の確保、下水道整備等、生活環境に直結した分野においては、いずれも整備率が低く、快適な生活環境が確保されているとはいえない状況です。

都市部と遜色のない快適な居住環境の創造は、地形的にも財政的にも制約を生じますが、豊かな自然に恵まれた、農村の特色を生かした快適環境の形成を図ることが、定住促進のためにも必要とされます。

第4章　　一般計画

第１節　事業計画の要旨

1.要　　旨

本事業は、農業生産性の向上や水関係のかかる負担軽減を図るため、かんがい用水の適正な配水及び排水を的確かつ迅速に流下させるよう、未整備または老朽化した農業用の用排水路の改修を行うものである。

2.事業別面積

（第8表）

事業名	県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）										計	備考
土地利用区分 / 事業目的	田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)	田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
農業用用排水施設整備	22.0	1.1	－	－	23.1						23.1	
計	22.0	1.1	－	－	23.1						23.1	

第2節　営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の用水は、星野川から取水し現場打ち水路や石積み水路を通じて下流農地に送られている。水路の老朽化によるひび割れ等によって各所で漏水しており、末端農地に適正な配水が出来なくなった。また、排水路として断面が不足しているため降雨時排水が水路から溢れ、周辺農地に被害を与えている。

このため安定した用水を確保するため、老朽化した現場打ち水路をライニングし、石積み水路をU字溝で改修して安定した用水を確保する。併せて高齢者に優しい維持管理を図る。

2. 土地利用区分

（第９表-１）

事業名	土地利用区分／区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
県営中山間地域総合整備事業	現況	22.00	1.10	－	－	－	－	23.10	－	－	－	23.10	
	計画	22.00	1.10	－	－	－	－	23.10	－	－	－	23.10	
計	現況	22.00	1.10	－	－	－	－	23.10	－	－	－	23.10	
	計画	22.00	1.10	－	－	－	－	23.10	－	－	－	23.10	

3作付方式

（第9表－2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	3年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	現況		輪換耕地						水稲												水稲												水稲							
				茶																																				
				花木																																				
			畑																																					
				茶																																				
	計画		輪換耕地						水稲												水稲												水稲							
				茶																																				
				花木																																				
			畑																																					
				茶																																				

4. 生産計画

（第9表－3）

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	計画	増減	作付率 (%) 現況	計画	単位面積当たり収量 (kg/10a)又は（本/10a) 現況	計画	増減	生産量 (t) 現況	計画	増減	同左生産量増の内訳 (t) 面積増減	単位面積当たり収量増減	備考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	水田	表作	水稲	15.7	15.7	0.0	73.0	73.0	433	433	0	67.981	67.981	0	0	0	A=
			茶	0.2	0.2	0.0	0.9	0.9	119	119	0	0.238	0.238	0	0	0	本地面積
			花木	0.4	0.4	0.0	1.9	1.9	6566	6566	0	26.264	26.264	0	0	0	
		裏作															
		小計		16.3	16.3	0.0	75.8	75.8	－	－	－	－	－	－	－	－	
	普通畑	表作	茶	0.1	0.1	0.0	100.0	100.0	610	610	0	0.61	0.61	0	0	0	
		裏作															
		小計		0.1	0.1	0	100	100	－	－	－	－	－	－	－	－	
	樹園地	通年															
		小計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
合計				16.4	16.4	0	175.8	175.8	－	－	－	－	－	－	－	－	

5. 労働改善計画

該当なし

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節　用水計画

該当なし

第４節　排水計画

1. 計画基準雨量　　（国営筑後川下流土地改良事業計画書より）

【水田の畑利用の場合】

4時間雨量	108 mm	（１/10年）
	67 mm	（１/２年）

【山地流域を受ける場合】

時間雨量	61 mm	（１/10年）
	38 mm	（１/２年）

2. 計画排水方式

排水方式　：　自然排水

3. 計画排水系統

現況排水系統と同じ

4. 計画排水量

（第１１表-１）

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名	流域面積(km²)		基準雨量	降雨による直接単位流出量(m³/s/km²)		基底流出量(m³/s/km²)		全排水量(m³/s)			単位排水量(m³/s/km²)		備考
									山地	平地				
	農業用用排水施設整備	山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
下小野1	2.24		0.2542	230mm/4hr	－	9.583	－	－	－	2.436	－	－	－	下小野２と重複
下小野2	8.17		0.0000	230mm/4hr	－	0.000	－	－	－	0.037	－	－	－	
上小野1	1.80		0.0000	230mm/4hr	－	0.000	－	－	－	0.016	－	－	－	
上小野2	1.79		0.0000	230mm/4hr	－	0.000	－	－	－	0.010	－	－	－	上小野１と重複
土穴	3.10		0.0069	230mm/4hr	－	6.377	－	－	－	0.044	－	－	－	
本星野1	1.38		0.0030	108mm/4hr	－	3.333	－	－	－	0.010	－	－	－	
本星野2	0.59		0.0011	230mm/4hr	－	10.000	－	－	－	0.011	－	－	－	
千々谷1-1	0.95		0.0048	230mm/4hr	－	5.833	－	－	－	0.028	－	－	－	
千々谷1-2	0.23		0.0038	108mm/4hr	－	3.158	－	－	－	0.012	－	－	－	
千々谷2	0.98		0.0159	108mm/4hr	－	3.585	－	－	－	0.057	－	－	－	
千々谷3	1.90		0.0044	230mm/4hr	－	6.364	－	－	－	0.028	－	－	－	
千々谷4	1.67		0.0209	230mm/4hr	－	5.215	－	－	－	0.109	－	－	－	
椋谷	0.71		0		－		－	－	－		－	－	－	
計	25.51		0.3150							2.798				

5.排水対策

(1)排水水門

該当なし

(2)排水機

該当なし

(3)排水路

(用排兼用水路)

(第11表-4)

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名 農業用用排水施設整備	計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
下小野1	0.2542	2.24	2.436	0.744	ｺﾝｸﾘｰﾄU字溝				下小野２と重複
下小野2	0.0000	8.17	0.037	0.945	ｺﾝｸﾘｰﾄU字溝				
上小野1	0.0000	1.80	0.016	0.446	ｺﾝｸﾘｰﾄU字溝				
上小野2	0.0000	1.79	0.010	0.281	ｺﾝｸﾘｰﾄU字溝				上小野１と重複
土穴	0.0069	3.10	0.044	0.205	U字溝				
本星野1	0.0030	1.38	0.010	0.063	石積水路				
本星野2	0.0011	0.59	0.011	0.048	石積水路				
千々谷1-1	0.0048	0.95	0.028	0.142	石積水路				
千々谷1-2	0.0038	0.23	0.012	0.107	石積水路				
千々谷2	0.0159	0.98	0.057	0.162	石積水路				
千々谷3	0.0044	1.90	0.028	0.070	土水路・石積水路				
千々谷4	0.0209	1.67	0.109	0.209	土水路・石積水路				
椋谷		0.71		0.165	石積水路				
計	0.315	25.51		3.587					

(4)その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第５節　道路計画

該当なし

第６節　農用地造成計画

該当なし

第７節　洪水調節計画

該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

第９節　農用地整備計画

該当なし

第10節　老朽ため池改修計画

該当なし

第５章　　主要工事計画

第１節　用水施設

該当なし

第２節　排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路
（用排兼用水路）

（第18表-3）

項目 / 水路名	受益面積(ha) 事業名 農業用用排水施設整備	排水量 (m³/s)	排水本川 開きょ	排水本川 トンネルその他	排水本川 計	構造	勾配	主要構造物	備考
下小野1	2.24	2.436	0.744	－	0.744	表面被覆工	1/400～500		下小野２と重複
下小野2	8.17	0.037	0.945	－	0.945	表面被覆工	1/500		
上小野1	1.80	0.016	0.446	－	0.446	表面被覆工	1/400		
上小野2	1.79	0.010	0.281	－	0.281	表面被覆工	1/400		上小野１と重複
土穴	3.10	0.044	0.205	－	0.205	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(450×300,300×H)	1/400		
本星野1	1.38	0.010	0.063	－	0.063	U型側溝(450型,360型)	1/400		
本星野2	0.59	0.011	0.048	－	0.048	U型側溝(300型)	1/400		
千々谷1-1	0.95	0.028	0.142	－	0.142	U型側溝(300×300)	1/400		
千々谷1-2	0.23	0.012	0.107	－	0.107	U型側溝(300×300)	1/400		
千々谷2	0.98	0.057	0.162	－	0.162	U型水路(800×1000,600型)	1/500		
千々谷3	1.90	0.028	0.070	－	0.070	U型側溝(600型)	1/400		
千々谷4	1.67	0.109	0.209	－	0.209	U型側溝(360型,300型)	1/500		
椋谷	0.71	0.000	0.165	－	0.165	U型側溝(600型)			
計	25.51	2.798	3.587	－	3.587				

4. その他排水施設

該当なし

第３節　道路及び策道

該当なし

第４節　農用地造成

該当なし

第５節　洪水調節施設

該当なし

第６節　干拓施設

該当なし

第７節　農用地整備施設

該当なし

第８節　老朽ため池改修施設

該当なし

第６章　　附帯工事計画

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

着　手　　平成２８年度

完　了　　令和１０年度

第８章　　環境との調和への配慮

第１節　配慮の対象

１.植物　　絶滅危惧ⅠB類（オキナグサ、オグラコウホネ、シコクハタザオ、ヒロハコンロンカ、フトヒルムシロ、ヤマトミクリ）
Ⅱ類（リンドウ、バイケイソウ、マメヅタラン、エビネ、タシロラン）ⅡB類（湿性植物群落）ⅢA類（ヤマザクラ群落）

２.動物

鳥　類：絶滅危惧Ⅱ類（ヤマドリ）
両生類：絶滅危惧ⅠB類（トノサマガエル）Ⅱ類（カスミサンショウウオ、ニホンヒキガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル）
淡水魚類：絶滅危惧ⅠB類（アカザ）Ⅱ類（ニッポンバラタナゴ、カゼトゲタナゴ、ドジョウ、カジカ）
昆虫類：絶滅危惧Ⅰ類（キバネセセリ、スギタニルリシジミ、キマダラモドキ、キンスジコガネ）
Ⅱ類（ミヤマセセリ、ヒメキマダラセセリ、ミヤマチャバネセセリ エゾスジグロシロチョウ、コツバメ、オオムラサキ、ウラギンヒョウモン、ウラギンスジヒョウモン、クモガタヒョウモン、オオトラフクコガネ、オオマドボタル、オオオバホバル、オオクシヒゲビロウドムシ）

３.その他（景観・文化財等）

自然景観：池の山、室山、合瀬耳納公園、石割岳、石積の棚田、カラ迫岳
文化財：室山の大杉（県指定文化財）、天領日田・旧久留米藩国境石（県指定文化財）、大円寺、懐良親王御墓所、鷹取城跡　等

第２節　配慮の考え方

１.施工上の配慮

・工事の施工においては濁水の発生を極力防止し、発生した場合でも直接下流へ流さないなど、施工に際しての工夫をする。
・工事にあたっては、低騒音型の工事機械を使用する等、騒音を抑制する対策を行う。
・工事で使用する資材については、再生クラッシャーランなどの再生材を使用する。
・現況石積について、用排水管理への影響が無く、且つ状況が良好であれば、撤去せずにそのまま流用する。

２.施工計画上の配慮

・現況の水路では石積が多く見られるため、基本的には石積による改修を標準工法として採用し、周辺風景との調和を図る。

第９章　　換地計画の概要

該当なし

第１０章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分	事業名	農業用用排水施設整備（千円）		備考
事業費	主要工事	純工事費	159,405	
		測量試験費	60,115	
		用地費	0	
		工事雑費	2,798	
	附帯工事	－		
地方事務費		11,069		
計		233,387		
関連事業（参考）	国営	－		
	水資源開発公団営	－		
	都道府県営	－		
	団体営	－		
	非補助	－		
	その他	－		
	計	－		

第１１章　効　　用

（第27表）

事　業　名	項　目 区　分	年増加見込効果額 （千円）	年増加見込所得額 （千円）	備　　考
県営中山間地域総合整備事業（農業用用排水施設整備）	作物生産効果	11,808		
	営農経費節減効果	△ 335		
	維持管理費節減効果	△ 450	1,034	
	国産農産物安定供給効果	1,611		
	計	12,634	1,034	

＜参　考＞
総便益(現在価値化)　：　356,494 千円
総費用総便益比　　：　1.19

第１２章　　関連する事業

該当なし

第１３章　　現況・計画図面

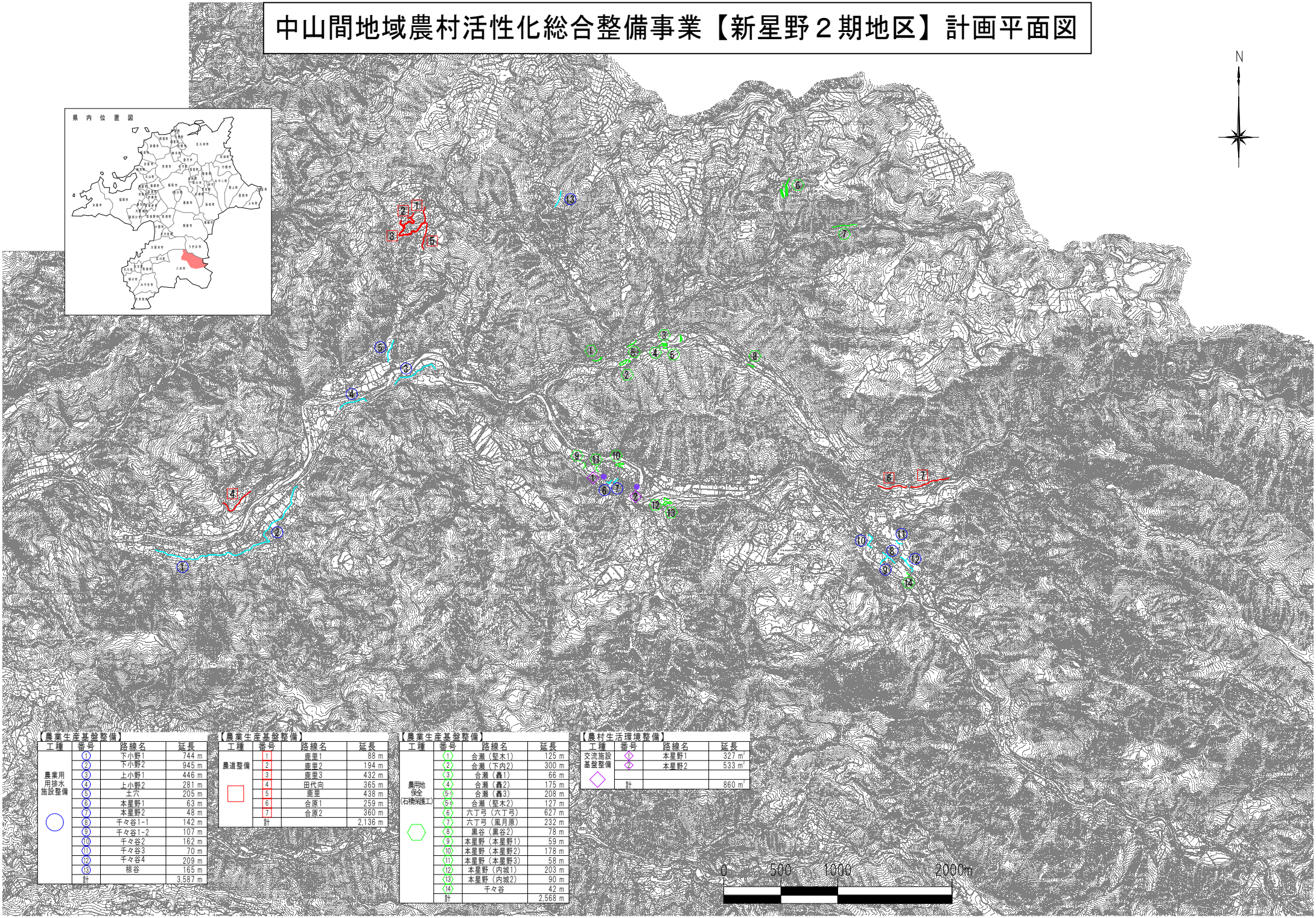
１．　現況図

別紙図面のとおり

２．　計画平面図及び主要構造図

別紙図面のとおり

中山間地域農村活性化総合整備事業【新星野２期地区】計画平面図



【農業生産基盤整備】

工種	番号	路線名	延長
農業用用排水施設整備	①	下小野1	744 m
	②	下小野2	945 m
	③	上小野1	446 m
	④	上小野2	281 m
	⑤	土穴	205 m
	⑥	本星野1	63 m
	⑦	本星野2	48 m
	⑧	千々谷1-1	142 m
	⑨	千々谷1-2	107 m
	⑩	千々谷2	162 m
	⑪	千々谷3	70 m
	⑫	千々谷4	209 m
	⑬	椋谷	165 m
	計		3,587 m

【農業生産基盤整備】

工種	番号	路線名	延長
農道整備	1	鹿里1	88 m
	2	鹿里2	194 m
	3	鹿里3	432 m
	4	田代向	365 m
	5	鹿里	438 m
	6	合原1	259 m
	7	合原2	360 m
	計		2,136 m

【農業生産基盤整備】

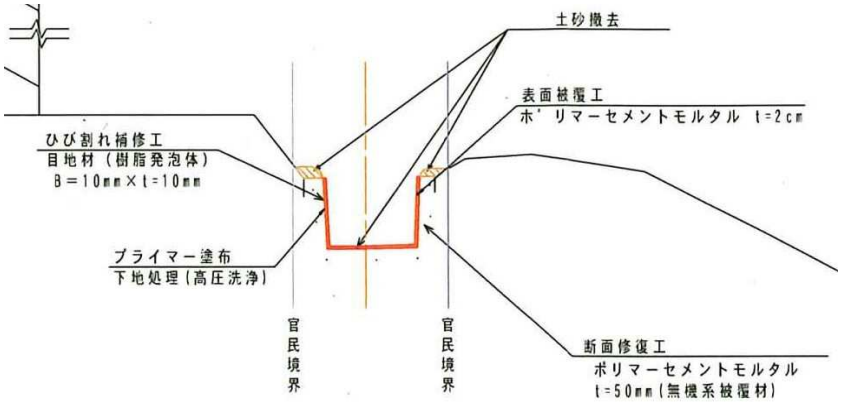
工種	番号	路線名	延長
農用地保全（石積除草護工）	〈1〉	合瀬（堅木1）	125 m
	〈2〉	合瀬（下内2）	300 m
	〈3〉	合瀬（轟1）	66 m
	〈4〉	合瀬（轟2）	175 m
	〈5-1〉	合瀬（轟3）	208 m
	〈5-2〉	合瀬（堅木2）	127 m
	〈6〉	六丁弓（六丁弓）	627 m
	〈7〉	六丁弓（風月原）	232 m
	〈8〉	黒谷（黒谷2）	78 m
	〈9〉	本星野（本星野1）	59 m
	〈10〉	本星野（本星野2）	178 m
	〈11〉	本星野（本星野3）	58 m
	〈12〉	本星野（内城1）	203 m
	〈13〉	本星野（内城2）	90 m
	〈14〉	千々谷	42 m
	計		2,568 m

【農村生活環境整備】

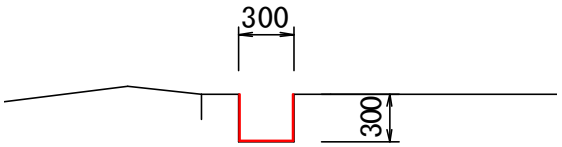
工種	番号	路線名	延長
交流施設基盤整備	◇1	本星野1	327 m²
	◇2	本星野2	533 m²
	計		860 m²

主要構造図

表面被覆工

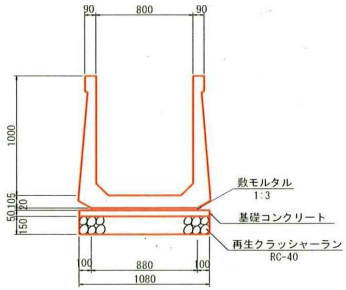


ライニング

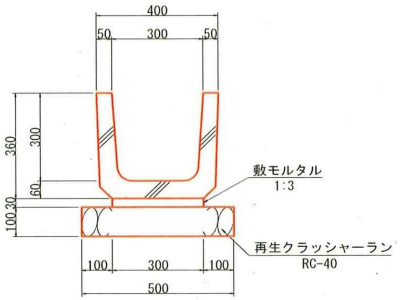
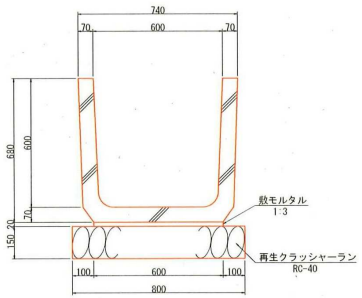


ライニング300×300

U型側溝_800×1000



U型側溝_300型



U型側溝_600型